みどりをさがしにでかけよう

ちが咲き

No. 13

2021 / 5

RENEWAL OPEN

市民の森ツリーハウスがリニューアルオープン！

市民の森は、昭和 53 年 10 月に開園し、平成 20 年に新たに設置されたツリーハウスやアスレチック遊具は、市民ボランティアの「市民の森ワーキング」により提案されたもので、自然を近くに感じ、ふれあえる場所として多くの利用者に親しまれてきました。

老若男女を問わず、多くの利用者に人気のツリーハウスとターザンロープは、老朽化のため改修工事を行い、令和 3 年 1 月 13 日にリニューアルオープンしました。新しいツリーハウスは、以前のデザインを継承しつつ、ターザンロープを取り込んだ一体型となり、より魅力的な施設に生まれ変わりました。森全体を一望できるツリーハウスと、風を切って滑走するターザンロープをぜひお楽しみください。

茅ヶ崎市　都市部景観みどり課・環境部環境政策課・建設部公園緑地課

作成協力：慶應義塾大学　一ノ瀬研究会　ちが咲き Project

リニューアルしたツリーハウスの見どころ

今回、ツリーハウスの老朽化とハウスを支えている木が枯れてしまったことにより、場所を移動してツリーハウスを設置することになりました。今回も初代ツリーハウスから定期的にメンテナンスをしていただいていた、ツリーハウスクリエイターの小林崇氏にデザインを依頼しました。３代目のツリーハウスは、『主役である子供たちが安全に遊べること、多くの方に親しまれ、愛されたツリーハウスのデザインを継承すること、さらに魅力的な施設にすること』をコンセプトにしています。

ターザンロープと一体の施設としたらより魅力的な施設になるのではというアイデアが挙がり、今回のデザインになりました。

風を切って滑走するターザンロープと、木の上の秘密基地であるツリーハウスをぜひお楽しみください！

子供から大人まで楽しめ、ちょっぴりスリルがある遊具になっています。(モデル：スマイル茅ヶ崎さん)
小さいお子様が遊ぶ際は保護者が必ず付き添うようにしてください。

市民の森に生育する植物

市民の森北側法面には、市内での分布が限定されるチダケサシ・ヒトリシズカ・イチリンソウ（草本類）のほか、キツネノカミソリ・ヤマユリ・ノガリヤス・ホトトギス（草本類）、ヒトツバハギ・クマヤナギ（木本類）などの植物が見られます。かつては全面的に機械による管理が行われていたため、これらの植物が安定的に生育する状況にはありませんでした。

そこで、平成２６年から保全を要する植物についてマーキングを行い、作業時に誤って刈り取られることのないようにしました。今後は、委託業者との作業前打ち合せを十分に行い、市職員による管理も組み合わせ、より自然環境の保全に配慮した管理としていきます。

近年管理方法が改善されたことにより、チダケサシ・ヒトリシズカが安定的に開花するようになり、ノガリヤスの個体数も飛躍的に増加しました。

ヤマユリ

ヒトリシズカ

ヒトツバハギ

葉の形からみる樹木の見分け方

花の季節が過ぎ、茅ヶ崎にも深緑の季節がやってきました。樹木は、葉の形から「広葉樹」と「針葉樹」に区分されます。

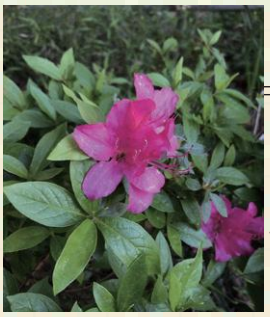
◎広葉樹とは…主に葉の幅が広いグループです。カシ類のように葉が１枚のもの(単葉)と、ネムノキなどのように複数の葉からできているもの(複葉)があります。胚珠(種子になる部分)が袋状になっている子房の中にあり、被子植物と言われます。

◎針葉樹とは…主に葉の形が針のようなグループです。マツやスギの仲間では葉が針のように幅が狭く細長い「針形」ですが、ヒノキ類などではうろこのような形の小さな葉が枝に隙間なくつく「うろこ形」です。胚珠がむきだしになっているので、裸子植物と言われます。

※イチョウは裸子植物なので分類学的には針葉樹の仲間ということになりますが、葉の幅が広く、例外的です。

このように樹木の葉は種類ごとに特徴があり、樹種を見分けるときの大きな手がかりになります。

広葉樹



サツキ・サクラ・モミジなど

針葉樹

マツ・スギ・ヒノキなど

施設について

施 設 名：市民の森ツリーハウス（茅ヶ崎市堤７１６）

利用期間：５月～１０月は毎日

１１月～４月は

土・日曜日、祝日

利用時間：午前１０時～午後３時

休 場 日：年末年始、雨天時

駐 車 場：有り（市民の森駐車場）

市民の森　位置図